

呉竹総合支援学校再構築に向けた

# 「呉竹バルーン構想」

共生社会の実現・自立と社会参加

## 学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために  
個々の可能性を最大限に伸ばす

3年構想

令和3年度の取組  
令和2年度の取組  
令和元年度の取組

## 学校教育の重点

〈京都市の総合支援学校〉

- 子どもを「できる存在」として捉え、できる姿を通して「生きる力」を育む
- 地域社会と協働して社会に生きる子どもに必要となる資質・能力を育む
- 自立と社会参加の実現に向けた生活態度や規範意識を育む

振り返る

教職員  
児童生徒

現状

支援の風

## 呉竹の強み

- 多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
  - ・子どもの自由で多様な表現活動
  - ・ICT活用、芸術系活動、余暇活動の充実など先進的な取組、ユニークな取組
- 迅速な行動力
- 行事に向かうパワー
  - ・学校祭（体育の部・文化の部）などの行事に向けての取組

## 呉竹の伸ばしたい点

- 学校力
- 小中高の継続性と連続性
  - 各部署の連携と協働
  - 多様な学習形態の編成
  - 教職員の専門性、資質能力の向上
  - 地域への発信と協働

めざす

## めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

## めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る人
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にする人
- 児童生徒の主体性を尊重する人
- 授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒を指導・支援する人
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する人
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする人

## めざす学校像

- 生命を守り切る学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 教職員が夢や希望をもって働ける学校

令和3年度

令和2年度

令和元年度

推進する

令和2年度

## 「地域への発信・地域での展開」

【キーワード】  
【授業づくりの視点】「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」① 障害者スポーツによる交流および共同学習を通じた障害者スポーツ普及・啓発  
「スポーツ交流 大作戦！」② 多様な学習形態・学びの場による学習保障  
「広がれ、学びのカタチ 大作戦！」風を  
受ける

## 求められる学校力（令和2年度の取組の重点）

## 新たな教育課程の創造のために

## 授業づくりにかかる取組

- 着実な授業改善
  - （学びのMAPの活用、校内研究の充実）
- 個別の包括支援プランの活用
  - （児童生徒のアセスメント等、研修内容の充実）
- 研究授業の充実
  - （授業見学を通じた学び合い）
- 図書館教育の推進
  - （選書会や読み聞かせの実践）
- 地域資源の活用
  - （呉竹から地域への発信と地域での学び）

## 専門性・資質の向上にかかる取組

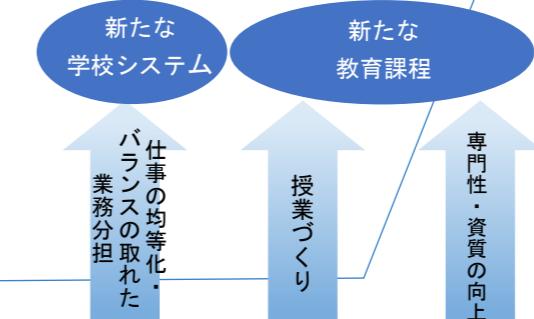
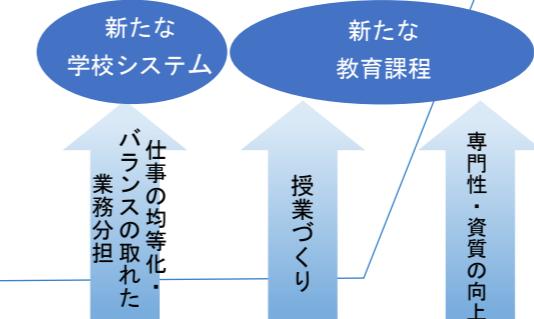
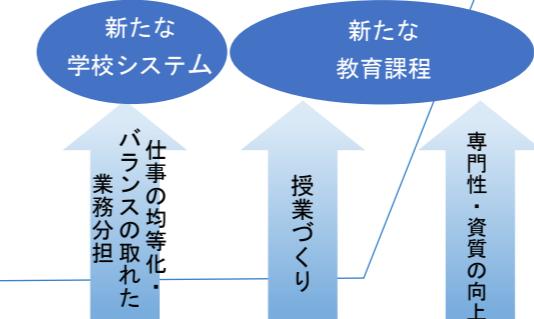
- 研修の充実（個の専門性）
- 支援部機能の充実（学校の専門性）
  - （支援部の専門性を担保するための研修と人材育成・校内の支援部活用システムの充実・育（はぐくみ）支援センター業務の再確認と整理）
- コーディネーターを中心としたOJT
  - （コーディネーター研修の充実）

## 新たな学校システムの構築のために

## 仕事の均等化・バランスの取れた

## 業務の分担にかかる取組

- 学部の主体性を重視した組織運営
- 会議の充実と活性化
  - （部長会議・ケース会議等）
- 学習の記録（通知表）、指導案等の改定
- 12年間を意識したキャリア教育の実践

新たな  
学校システム

## 地域・保護者の理解と協力

- 学校運営協議会の活性化
- 学校評価の活用
- 地域や近隣校の理解と協力
- PTA活動の充実

## 社会の動向・環境

- 働き方改革
- 新学習指導要領の実施
- インクルーシブ教育システムの推進
- 地域資源としての学校
- 校舎再整備